



CAGLIERO 11

カリエロ



178 2023年 10月

サレジオ会宣教ニュース

サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



友人の皆さん、

カンボジアから平和のあいさつを送ります！このあいさつを送りながら、聖パウロの言葉、1コリント13章4-7節を思い出します。「愛は忍耐強い。愛は情け深い……すべてに耐える」。このことは、私たちが世話する子どもたちのためならたいい容易なのですが、自分たちのこと、兄弟会員やほかの修道者、信徒・ライチ協働者のことになると、どちらかといえば、より面倒になります。

ドン・ボスコが、靈魂のための新たな熱意をもって一人ひとりの活力を回復させてくれますように、そして、愛のうちに私たちを一致させてくれますように。カリエロ11の読者の皆さんのため、驚くべきみ業の国から、愛と平和をお祈りします。

■ 東アジア-
オセアニア地域 (EAO)
宣教促進コーディネーター
カンボジア宣教促進担当者
アルン・マイケル・
チャールズ神父 SDB

宣教の資源の動員



多く持つ人も、少ししか持たない人も、皆がそれぞれ、自分の、物的、靈的な資源・手段から**差し出すことの喜びを味わい心満たされる体験を**することができます。物語や写真、短いビデオ、進捗状況のモニタリング、効果の評価、報告責任や透明性などの形で、皆さんは進んでそれぞれの資源を差し出してください。私たちが責任をもってそれを活かすだろうと、信頼してくれているからです。

私たちの宣教活動の資源は、お金だけに限定されません。それは、お金より大きなものなのです。**「資金集め」から「資源の動員」へと前進する**ことが必要です。宣教の資源の動員は、支援を無心することの対極にあります。それは、私たちの驚くべき、心躍らせるビジョンに共に参加する機会を提供し、私たちの宣教活動にさまざまな方法で意味深く協力するよう人々を招くことによって、自分たちの信じていることを宣言することです。

貧困を減らし、福音を告げ知らせるための具体的な行い — **時間、能力、自分の宝物を用いること** — へと招かれた人々は、自分より大きなものの一部となるのです。そのことによって、人生に光となるビジョンが与えられ、新たな兄弟愛の感覚が差し出されるのです。

しかし、靈的なまなざしがそこに無いなら、資源の動員はビジネス、あるいは貧しい人々のために資金を集め、分配する単なる仲介事業になってしまうでしょう。真の宣教の資源の動員は、そうではなく、**祈りを土台とし、感謝のうちに取り組まれます**。祈りは、資源を持つ人々、資源を動員しようとする人々の隠れた動機を明らかにします。祈りは、神のいつくしみ深さへの私たちの意識を深めさせます：人の心のうちに、感謝の精神を成長させる神のいつくしみです。資源・手段を差し出すことによって、人々は神に近づき、より広い人類家族の一員であるという意識において成長するのです。

他方、資源を動員しようとする人々は、与えられている資源をよりよく管理し用いるよう、また、自分たちが神と神の摂理に全面的に信頼しているかどうかを振り返るよう、挑戦を投げかけられています。実に、**資源への執着から自由である**とき、はじめて私たちは、資源を分かち合ってくれるよう、自由に人に願うことができます；そのときはじめて、受けたものに対して、責任をもって透明でありたいと願うでしょう。

サレジオ会には、総長によって設立された、修道会全体の宣教活動を支えるために資源を動員する、4つの宣教事務局があります（ニューロシェル、マドリッド、トリノ、ボン）。多くの管区もまた、それぞれの管区宣教事務局を設立しています（会則第24条）。実に、**地元の資源を動員する**ことを優先しなければなりません。最終的には、ドン・ボスコの宣教精神を促進するために宣教の資源は動員されます。そのため、資源が、福音宣教活動、養成を支援するため、またすべての教育司牧共同体と各管区における宣教の活性化を促進し育む活動を支援するために、配分されるようにしなければなりません。

■ 宣教顧問

アルフレッド・マラヴィジャ神父 SDB

振り返りと分かち合いのために

- どうすれば、資源の動員によって、人々が神に近づくのを助けられるだろうか？
- どうすれば、資源の動員によって、宣教を活性化できるだろうか？



パラグアイ イエズス会とサレジオ会の宣教



グアラニー族の人々へのイエズス会の宣教は、現在のアルゼンチン、ブラジル、パラグアイの国境（三国国境）にまたがる地域で、入植地を築くものでした。宣教地はカトリック教会のイエズス会によって17世紀の初めに開かれ、18世紀の終わりに、アメリカ大陸からのイエズス会の追放をもって終焉を迎えました。この宣教事業は「神を中心とする社会主義的な政治」の実験、あるいは「善良な植民地主義」のまれな例、などと呼ばれてきました。

サレジオ会宣教師たちは、1896年からパラグアイで働いています。事業は首都アスンシオンで、パラグアイ川の港の近くから始まりました。その場所で、サレジオ会員たちは教会を建て、教育活動を始めました。教育プログラムは、手工芸の技能や、先住民族の技能や知識を発展させるのに役立つ職業に焦点を当てるものでした。

パラグアイ議会は、チャコ地域の先住民族のためのサレジオ会宣教師たちによる教育プログラムを評価し、サレジオ会司祭ジュゼッペ・ザナルディーニを表彰しました。ザナルディーニ神父は地元の必要に基づいて、先住民族の学校のための新たなプログラムを作っています。

UNICEFによると、パラグアイの人口650万人のうち23パーセント近くが、1日1ドル以下の収入で暮らす貧困層です。わずかな上流層とおびただしい下流層の格差は極端で、下流の人々が社会の中で向上することはほぼありません。

サレジオ会宣教師たちは教育プログラムを通して、先住民族の共同体の向上に力を入れています。現在、パラグアイの500近くの先住民族の学校が国の支援を受け、約25000人の生徒が教育を受けています。これらの学校は、多くが同じく先住民族出身である1500人の教員の、惜しみない働きと献身によって成り立っています。

出典：Wikipedia, Salesians Missions



レドゥクション

この言葉は英語のreduction / reduce という言葉から「縮小する」などの意味に誤解されるかもしれません。スペイン王立アカデミーはreducciónを次のように定義しています。「福音宣教と統合を目的とし、先住民族を集め、入植地を形成すること。」植民地時代のメキシコではこれをcongregaciones（集まり、集会）と呼んでいました。

グアラニー族のレドゥクション（教化集落）の総人口

年	人口	備考
1641	36,190	イエズス会により30のレドゥクションが開かれる。「リオ・デ・ラ・プラタの宣教地」と呼ばれることが多い。
1700	86,173	1647年以降、着実に発展。
1732	141,242	レドゥクションの人口が最多となる。
1740	73,910	疫病により人口が減少。
1768	88,864	イエズス会の追放
1801	45,637	レドゥクションの衰退。



10月 サレジオ 宣教の 祈りの意向

シノドスのために

パラグアイのサレジオ家族のメンバーが、一つになってシノドスの旅を歩めますように。

教会のために祈りましょう。教会が、あらゆるレベルで、耳を傾け対話する生き方をとりいれ、聖霊に導かれ、この世の辺縁へと出かけて行くことができますように。| 教皇フランシスコの祈りの意向 |

パラグアイ
のために

